

八王子市議会議員 市民・民主クラブ

あ ん ど う 修 三

安藤おさみ



ごあいさつ

新緑が眩しい爽やかな季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。先般八王子市議会では、平成24年度予算の審査が終了し、平成24年度当初予算案が議決されました。一般会計の予算規模は約1,812億円、特別会計は約1,514億円で、総額で約3,326億円となりました。歳入では市税収入が、固定資産税などの減により、4年連続の減収となると予測されています。歳出では、年々増加傾向にある生活保護費などの義務的経費が、本年度も増加する見込みで、一般会計を圧迫する状況が続いています。なお、一般会計と特別会計を合わせた市債（八王子市の借金）残高は、平成23年度末で約2,273億円となる見込みで、平成12年度の3,183億円から減少を続けています。今回は、主にこの予算審査特別委員会での総括質疑の内容をご報告いたします。

総括質疑でこんな提案をしました

今回の総括質疑では、1、八王子医療刑務所の移転後の跡地の有効利用について 2、町会・自治会連携と地域自治組織について 3、中心市街地活性化策について、の3点について市側へ提案を行いました。紙面の都合上、全ての議論をご報告する事が出来ませんので、ここでは1、八王子医療刑務所跡地に関する事柄に絞ってご報告したいと思います。（詳細やその他の点については、市のHPより議事録をご覧ください）

《提言》

民設民営のサッカー専用スタジアムを中心とした複合施設としての利用を。

サッカースタジアムという施設の公共性と、Jリーグ誘致による経済効果を同時に達成し、民間資本を活用して、出来るだけ行政コストを抑えたスタジアムの建設・運営方法について提案しました。これは、選挙の公報でも掲げていた政策です。まず、八王子医療刑務所に関する現状認識について、整理したいと思います。

《現状》

- ① 当初は来年度に移転予定となっていたが、移転候補地にオオタカの営巣が発見され、環境対応の為予定数年遅れる見込みとなった。概ね平成28年度頃の移転予定となっている。
- ② この用地取得に必要な額の参考となる簿価は約65億円で、八王子市としてはこの用地を有効利用する為に、国から購入・取得する予定である。
- ③ 周辺駅の合計乗客数は一日平均約15万人で、更に国道16号線に面する交通アクセスの良い立地である。
- ④ 敷地面積が約5.3haと規模が大きく、活用の選択肢の幅が広い。

以上の現状認識のもと、この用地を市が有効利用するには、公共性があり、多額の財政出動を伴わないもので、更に経済効果の見込める、まちづくりの起爆剤となるようなものでなければなりません。

そこで、上記の「民設民営のサッカー専用スタジアムを中心とした複合施設」を提案したわけですが、その理由と有効性として、下記のもの挙げました。

《理由と有効性》

- ① 2万人程度のサッカー専用スタジアムは、3haほどの用地があれば建設が可能である。
- ② これが出来た場合、Jリーグのサッカーチームのホームスタジアムとなる可能性が高い。ここで詳しく述べる事は出来ないが、この提案はJリーグ誘致を前提として考えている。試合日には1万人規模の動員が期待でき、周辺にもたらず経済効果は大きい。（市側の答弁もこの主張に沿うものでした。）
- ③ Jリーグの発行する資料によると、2万人規模のスタジアムだと、約90億円の建設費がかかるという。スタジアムには、初期投資も、維持費もかかる。この問題をクリアしなければならない。日本では、サッカースタジアムというと、行政が建設・管理するものだと考えがちだが、ヨーロッパでは決してそうではない。ヨーロッパでは、行政がスタジアム運営会社ほぼ無償貸与し、建設費は民間と行政の共同出資とするケースが多い。出資比率は行政が16%~30%程度、残りは民間である。このような事例はまだ日本には無いが、このモデルの成功条件は、「民営」を可能にする為施設の収益力向上を図ることにある。その為にサッカーの試合日以外の稼働率を上げる事が必要で、

これを複合施設として整備し多目的化する事、同時に建設用地を交通アクセスの良い所に確保し集客力を上げる事、が絶対条件となる。当該用地はこれが達成できる条件が揃っている稀有な用地である。(このような施設建設、運営のモデルを知っているかと市側に訪ねた所、「日本で前例もなく、承知していない」との答弁がありました。)

④ スタジアムは、防災拠点としての機能も期待できる。先の震災でも八王子駅周辺は、帰宅困難者が多く発生し、道路も混雑し、交通機関はマヒした。このようなとき、救急患者などを搬送するヘリポートが必要になる。駅周辺にはヘリポートとして使える用地は無く、スタジアムはその役割を担える。また、大量の帰宅困難者や避難者が出たときに、大人数が収容可能な中心市街地の防災拠点として機能しうる。(市側もこの主張に沿う答弁がありました。)

以上のような点から、サッカー専用スタジアムを中心とした複合施設としての、医療刑務所の跡地利用の有効性を訴えました。特に、③の「民間資本誘致」の点は重要で、現状日本のスタジアムの運営・建設には多額の税金が付き込まれています。立地の悪さなどから採算がとれず、行政が運営する他ないからです。医療刑務所の立地の良さ、ポテンシャルを最大限引き出し、全国の先進事例となるモデルに挑戦するべきだと考えています。因みに味の素スタジアムのある飛田給駅の一日平均乗客数は2万3千人程度で、医療刑務所周辺の15万人との差は歴然としています。

最後に一番重要な事として、今回の提案は一つのアイデアだが、他の利用方法も含めて、今後行政も議員も、市民を巻き込んで勉強するべきだと主張しました。今回提案した事の中には、行政も知らない設備運営の方法があったように、我々はもっとこれからの施設整備やまちづくりについて勉強が必要だと訴え、誤った判断をしない

松姫通り、御所水通りの歩道整備が行われます。

歩道が狭く、見通しの悪い交差点での自転車事故などの多い御所水通りは、以前より近隣住民の皆様から改善要望が出ており、私も環境改善へ向けて働きかけを行ってまいりました。この度、国体で使用される市民球場の周辺道路整備という名目で、松姫通り(市民球場の西側)と御所水通り(市民球場から台町交差点方面)の歩道整備の為に予算が約2億2千万円計上されました。現在は整備計画を策定している段階ですので、出来るだけ早い時期にご意見等頂ければと思います。日ごろから利用されている近隣の方々の使い勝手の良いものとなるよう、皆様のご意見を出来る限り計画に反映させるべく取り組んでまいります。

議会での発言が神奈川新聞に取り上げられました



今から約3カ月前、私が議会でリニアモーターカーの新駅が橋本駅に来る可能性が高く、八王子市は今から連携強化する必要があると訴えた事に関して、神奈川新聞から取材を受けました。周辺自治体の議員として、相模原市と共に成長するべく双方の連携強化の必要性を訴えました。結構紙面を割いて掲載して頂きました。(紙面が小さくてすみません。ご興味のある方はブログをご覧ください)

座談会・講演やっています！

最近色々な方にお招き頂き、大学院での講演から、数人規模の座談会まで、ざっくばらんに皆様と政治や身近な問題について議論させて頂いております。私自身非常に勉強になるというのが主な動機ですが、この活動をもっと広げていきたいと考えております。是非私と色々なテーマで議論する機会を設けて頂ければと思います。本当にお気軽に！下記にてご連絡下さい！！

※今回は紙面の都合上、「今後の市政の論点」と「数字あれこれ」のコーナーはお休み致します。※

<安藤おさみ プロフィール>

1980年4月28日生まれ
【学歴】山田小、第七中、日大三高
日本大学 生物資源学部卒業
早稲田大学大学院 政治経済学術院
公共経営研究科 修了

【職歴】商社営業を経て、(株)船井総合研究所にて経営コンサルティング職として勤務 早稲田大学大学院 招聘講師

【政治活動】2011年八王子市議会議員

ご意見・ご要望/安藤おさみと語る会(座談会)随時募

お名前 _____ お電話番号 _____

ご住所 _____

■ご意見・ご要望お寄せ下さい/座談会で語りたくないこと…等

安藤おさみ HP・ブログ 【安藤おさみ】で検索！メール：osamiando55@gmail.com

上記ご記入のうえ、この用紙をFAXください。【FAX】042-649-9777